

様式1

1 学校教育目標
教育目標：豊かな校風を継承し、自ら学ぶ意欲と時代の変化に主体的に対応できる能力を備え、健康で社会や文化の発展に貢献できる産業人を育成する。
教育方針：1 広い視野と健康で豊かな人間性の育成
2 個性と創造性の伸長
3 社会人としての資質の涵養
4 望ましい勤労観と職業観の形勢
校訓：スクールモットー「信」「創」「翔」

2 現状分析（前年度の評価と課題を踏まえて）
○ 全校生徒30人の小規模校ではあるが、ほとんどの生徒が毎日きちんと登校し、真面目に授業に取り組んでおり、落ち着いた学習環境を維持できている。
○ 義務教育段階での基礎・基本的な学力が十分に定着していない生徒が多く、「学び直し」による基礎学力の定着、学習意欲の向上が求められる。
○ 進学・就職とも、ほぼ希望どおりの進路実現がなされている。将来の自立を支援するため、早期の進路啓発、コミュニケーション能力の育成、資格取得の奨励等、更にキャリア教育を推進する必要がある。
○ PTAや定時制教育振興会、市役所や商工会議所その他の関係機関との連携を深め、コミュニティスクールの仕組みを活用した学校支援・地域貢献の取組を推進する。

3 本年度重点を置いて目指す成果・特色、取り組むべき課題
「学び直しと自立への支援」
1 将来への道づくり
・生徒一人ひとりの自立をめざす教育活動の充実
・社会性と公共心の育成（あいさつ、言葉遣い、身だしなみ、清掃活動等）
2 輝く人づくり
・学び直しによる基礎学力の定着と学ぶ意欲の育成
・体験的・協働的な学びを通じた自己肯定感・自己有用感の醸成
3 開かれた学校づくりといきいき環境づくり
・コミュニティ・スクールの仕組みを活かした地域連携教育の推進
・スクールカウンセラーや養護教諭と連携した教育相談の活性化
本年度のチャレンジ目標
Go for it!
- 夢をつかめ -
○ 無断欠席・無断遅刻ゼロ
○ 各種資格取得にチャレンジ
○ 就職・進学 希望進路100%達成
○ 自ら考え、判断し、行動する高校生

4 自己評価
5 学校関係者評価
評価領域 重点目標 具体的方策（教育活動） 評価基準 達成度 重点目標の達成状況の診断・分析
地域連携
・学校支援・地域貢献の推進
・基礎学力の定着
・授業力の向上
生徒指導
・基本的生活習慣の確立
・生徒による自主的な生徒会活動の推進
進路指導
【就職】
・就職希望者全員が正規雇用で就職
【進学】
・進学希望者全員が希望する大学等に進学
教育相談
・教育相談体制の充実
専門
・資格取得の奨励
業務改善
学校の組織等
・ベテラン教員のノウハウの蓄積と業務の円滑な遂行
日常的な業務
・PDCAサイクルに沿った分業業務の遂行
勤務状況
・働き方改革の推進

6 学校評価総括（取組の成果と課題）
○ 「コミ・スク元年」の取組の一環として、清掃ボランティア活動や高大連携による音楽会開催など学校支援・地域貢献に関する行事を行った。夜間という時間的制約の中で、どのような取組が可能か検討する必要がある。
○ 「学び直し」の一環として漢字テストを計画的・組織的に実施し、特に1年生が成績上位を占めるなど生徒の意欲的な取組がみられた。学習意欲の向上に努めるとともに授業改善を図り、基礎学力の定着を更に推進する。
○ 各種検定や資格取得の合格者も増加しており、進学・就職とも希望どおりの進路実現を達成した。今後は体験的な活動を通じてコミュニケーション能力の向上を図り、社会性の涵養に努める。
○ ワークライフバランスの推進に向けて年休取得を奨励するとともに時間外勤務の縮減に努めた。今後とも働き方改革を強力に推進することで、教員の長時間労働解消に努める。

7 次年度への改善策
○ 「分かる喜び」や「できる楽しさ」を実感できる授業づくりの一環として、「主体的・対話的で深い学び」(アクティブ・ラーニング)を取り入れた授業改善に努める。
○ 来年度の卒業予定者で、まだ希望進路が未定となっている生徒の進路啓発に努め、進路実現に向けて支援する。
○ 教員が生徒と向き合う時間を確保し、登校時の正門指導において、これまでの挨拶指導に加えて言葉遣いやマナー等についても指導し、社会性を涵養する。
○ 学校閉庁日等の働き方改革に関する取組を積極的に実施するとともに、引き続き年休取得を奨励することで時間外業務時間を更に縮減する。